



適地適品種・よい苗で

コシ
ヒカリひと
めぼれ

あ、おいしい ふくしまの米づくりをしよう

環境にやさしく、安全・安心な米づくりをすすめるには、いつの年も「冷害」と「いもち病」の発生に留意しながら、安定した生産と供給を図る必要があります。

そのために欠かすことのできない技術の一つは、適地適品種の作付けを基本とし、地域・標高に合った品種を作付けすることです。

二つめには、良食味米生産の基本は、「健全な苗を育て、基本技術を励行し、充実の良い米粒を得る」ことがあげられます。健苗育苗には、塩水選による充実種子の確保、苗の種類に合ったは種量と育苗日数、温度管理と水管理を徹底することが大切です。

平成19年用として配布される種子

平成19年用種子は、県の指定採種ほ場で生産されたものと、県外へ委託して生産したものがあります。これらの種子は、「ばか苗病」対策として消毒(使用薬剤：ヘルシードTフロアブル)されていますが、環境にやさしい米づくりの拡大に伴い未消毒種子の取扱いも多くなっています。未消毒の種子は、必ず種子消毒(薬剤による消毒(スターナ水和剤等)・温湯種子消毒)をしてから、は種してください。

《県内指定採種ほ産種子》

コシヒカリ ひとめぼれ あきたこまち チヨニシキ ふくみらい
まいひめ たかねみのり ゆめさやか 夢の香 こがねもち

《他県産種子》 華吹雪 五百万石 ヒメノモチ

【注意】華吹雪、五百万石は未消毒種子で、ヒメノモチは「テクリード水和剤」による種子消毒を行っています。他の品種とは別の容器で浸種してください。

1. 健苗育成のポイント

【1】入手した種子が「消毒済種子」か「未消毒種子」かを確認し、未消毒種子は「種子消毒(温湯種子消毒含む)」を実施しましょう。
種子消毒の実施にあたっては、使用濃度、量、処理時間などの使用基準を守り、防除日誌に記録して下さい。

【2】塩水選は必ず実施しましょう。

- ① 所定の比重液で塩水選を実施しもみの粒揃いを良くしましょう。
(うるち1.13 もち1.10)
- ② 塩水選中の種子は強くかき混ぜず、静かにていねいに扱きましょう。
- ③ 塩水選後の水洗いはきれいな水で数回すすぐ程度とし、薬剤を洗い流さないようにしましょう。